



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2020年12月9日発行 第2773号

12月9日例会休会にあたり 松村 晋也会長よりメッセージ

拝啓 寒さも本格的になってまいりました。皆様には御健勝でお過ごしのことと思います。今コロナの第三波が猛威をふるっております。1日の感染者数、重症者数、死者数第1波の時より上まわっており、本来なら緊急事態宣言が出てもおおかしくない状況であります。また、会員の方々よりこの様な現状では休会を考えるべきとの指摘を受け、又、医科の先生方の助言もいただきました。そこで12月理事会の審議で急遽12月9日の例会は、定款第7条第1節(d)による休会とさせていただきます。12月16日、12月23日はWebの例会を予定しております。又、合わせて2021年6月30日までの出席免除の延長も認めていただきました。コロナの性格上、終息宣言が出ない限り、感染拡大と収束の繰り返しだと思っております。そのため出席の免除も継続していきます。敬具



第29回米山功労クラブ感謝状お披露目

第2949回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さん、こんにちは。本日はロータリー第2949回の例会であります。12月はRIの月間として疾病予防と治療月間となっております。まさに今、コロナの第3波ということでございます。今の予定では12月16日に陶生病院の感染症内科の武藤義和先生のコロナの現状の卓話を予定しておりますが、ただこのまま例会を続けるかなどご意見を頂いておりますので、今日、理事会でどういう風にしたらいいのか協議していきたいと思っております。今後もっと状況がひどくなり緊急事態宣言が出て例会が開けないということになったら、武藤先生のお話しは無理なわけですが、その辺は柔軟に考えていきたいと思っております。

このコロナの第3波ということで、2月のクルーズ船からコロナが出て、3、4、5月と国の緊急事態宣言が出て、6、7月は少し治まり始めたかと思っていたら第2波が7~8月にかけて来まして、愛知県独自の緊急事態宣言がお盆の頃8月15日頃に出ました。その後9、10月は少し落ち着いてきたかと思っていたら、今回の第3波で11月からひどい状態です。専門家がちょうど2か月くらいのサイクルでコロナの山あり谷ありの図を出しますが、まさにこのようにコロナの影響を受けています。

私、このコロナの山あり谷ありの図を見る時に、今から7年程前に朝日新聞に「坂の上の坂」という言葉が載りました。皆さんご存知の司馬遼太郎の有名な小説「坂の上の雲」をもじった言葉です。こ

の坂の上の雲は日露戦争を通して当時の明治政府或いは日本国民が欧米列強に追い付け追い越せという事で盛んに富国強兵を取り色んな分野で頑張り、頑張って坂道を登りつめぼっかり雲が開いた所に素晴らしい未来が開いている事を信じて頑張る秋山兄弟の活躍を通したものであります。弟が秋山真之と言い、当時連合艦隊司令官東郷平八郎のもとで作戦参謀を務め奇抜でユニークなアイデアで当時世界一と言われたロシアのバルチック艦隊を日本海海戦で破り、一方兄の秋山好古は日本の騎兵隊を率いてロシアのコサックの騎兵隊を打ち破る、そういった活躍を通して日露戦争に勝っていくという物語です。ところが「坂の上の坂」というのは現実に人間世界では一つの坂を登りきると又次の坂が待っているというものです。ちょうどコロナの感染拡大と収束の山あり谷ありが坂の上の坂に匹敵して私はすぐその言葉が思い浮かびました。恐らくこのコロナはワクチンの獲得、治療薬が完全に出来て国民全体に抗体が出来上がるまではまさに今のように坂の上の坂が繰り返されるのではないかと考えるのです。私は自分の年度は当然としても、もしかしたら政成年度、或いは牧オサム年度の辺りまでかかるのではないかと覚悟しながらの会の運営になるのではないかと思っているわけでありました。

今日は坂の上の坂とコロナということでお話しさせていただきました。会長挨拶とさせていただきます。

前回例会記録

2020年12月2日 第2949回例会

- ・出席報告 会員数 55人中出席 33人
出席率 60%
- ・行事
出席表彰 50年表彰 佐野一二君
米山功労者感謝状授与
鈴木政成君、刑部祐介君
第29回米山功労クラブ感謝状
お披露目
- ・本人誕生日 松本哲也君
- ・結婚記念日 江坂正光君 松本哲也君
加藤令吉君 高橋信郎君
加藤光哉君
- ・卓話 パスト会長 加藤令吉君
「何の為に？」

例会予定

- <<<<12月16日(水)WEB例会>>>>
公立陶生病院 感染症内科
主任部長 武藤 義和様
「冬のコロナと感染対策」
- <<<<12月23日(水)WEB例会>>>>
クラブフォーラム
- <<<<12月30日(水)>>>>
休会

パスト会長 加藤令吉君 「何の為に？」



先日、友人の誘いで京都のある有名な料理店を訪れる機会に恵まれました。玄関でのご主人との挨拶を終えいよいよ料理が始まりました。乾盃を済ませ口取りから順序良く料理が運ばれ美味しく頂いていた目前に次の料理の為に準備されている器に目を奪われました。その器は正に桃山時代美濃で焼かれた織部の向付でした。それも十客。唾然として器を眺めているとその店の主人が「いい出物があつたんで買うんですわ！」とサラリ一言。そしてその後その器には刺身が美しく盛られて配膳されてきた。次の料理には萩焼の素朴な皿に焼き魚が。そこでご主人に萩のどなたの作ですか？と尋ねる

と返ってきた言葉は「亡ならはった人間国宝の三輪休雪さんの作ですわ！」と又もやサラリ。その後が続いた言葉はこうであった。「先生、器は使うものでしょ、じゃなきゃ何の為に買うたんか分かりまへんわ！」この様に何の為にを明解に語る料理人は素晴らしいと納得してその店を後にした。

翌日はバカラの蒐集家として有名な京都美商の北山美術館を訪ねて数々のコレクションを拝見して講話を頂いた。この方はバカラだけではなく有田のやきものにも精通しておられ話題は海外でのオークションでの対応から現在の当代達の話まで幅広い内容で語られた。その際にも「何の為に？」という言葉が多く出た。例えばその窯元が何の為に作っているのか？「for sale」なのか「for collection」なのか。確かに売り物と美術館等に收藏される作品の価値はそれぞれである。この二日間に耳にした「何の為に？」「WHY？」はあらゆる場面で重要な言葉である。

このロータリークラブの存在、活動、メンバーとしての意義、入会の時に「何故ロータリークラブのメンバーになりたかったのか？」を再度考えて頂きたい。この創立 60 年を数える伝統あるロータリークラブの一員としての意識の確立が自らの人間性の向上を高め社会での存在感を示す事と思う。趣味を楽しむ合うだけの集団では無く共に四つのテストを生活の基盤の一つとして捉え、会員間の友情を大切に素晴らしい社会奉仕に繋げる年が出来たら理想的かと思う。

私達の住む瀬戸はやきもの 1000 年の都で歴史に名だたる地で国内外にもあらゆる面で大きな影響を与えている。この素晴らしい地に存在する瀬戸ロータリークラブの一員として常に「WHY」をキーワードにして行動してみませんか？



出席表彰 50 年表彰
佐野一二君



米山功労者感謝状授与
鈴木政成君



米山功労者感謝状授与
刑部祐介君

ニコボックス報告

2020 年 12 月 2 日例会

パスト会長 加藤令吉君の卓話を楽しみにしています。会長 松村晋也、幹事 加藤一夫

卓話をさせていただきます。ご自由にお過ごし下さい。加藤令吉 只今出席表彰を頂きましてありがとうございます。佐野一二 いつのまにか 62 才になってしまいました。誕生日をお祝い頂きありがとうございます。松本哲也

結婚記念日を皆さんにお祝い賜り感謝しています。加藤光哉 今年も無事に記念日を迎える事が出来ました。コロナ禍の中ですが当日は楽しいお酒を飲みたいと思います。加藤令吉 4 人の孫に囲まれて 34 回目の記念日です。お祝い頂きありがとうございます。松本哲也

平成元年に、私 28 才妻 25 才で結婚しました。丸 31 年、彼女の人生をひっかき回したことになりますが、まあ仕方ないですよ。お祝い、ありがとうございます。江坂正光

結婚記念日をお祝い頂きありがとうございます。32 回目の記念日は大好きな志摩へ行ってきます。高橋信郎

11 月 22 日に息子が結婚しました。鈴木伸

本日の理事会、社用の為、欠席致します。申し訳ありません。寺田悟

パスト会長 加藤令吉君の卓話を楽しみにしています！

青山貴彦、青山稔、井上博、江坂正光、大竹一義、大原道夫、岡村肇、刑部祐介、加藤克己、加藤定江、加藤唐三郎、加藤真言、加藤光哉、加藤陽一、亀井勝、小池芳樹、小林稔、鈴木伸、鈴木政成、高橋信郎、田中靖達、寺田悟、戸田由久、牧オサム、山本英雄

12 月の誕生日・結婚記念日おめでとうございます！

大原道夫、加藤一夫、小林稔、田中靖達、山本英雄